

「気づきの質を高める」生活科の学習！

生活科は、子どもたちが身近な人や社会、自然などのかかわりながら、さまざまなことに気づき、見つけ、比べたり、試したり、教え合ったりし、気づいたことを深め、表現するなどして考える力などを高めていく学習です。（※小学校学習指導要領には、「実社会や実生活と直接かかわる学習活動の実現を通して、よき生活者としての資質や能力及び態度を育成する」とあります。）

震災前の本地域を十分に知らない1・2年生にとっては、多くの人とのかかわりを通して、地域を知り、そこで暮らす人々の思いや願いを感じ取っていくことがとても大切であると思います。そのことは、子どもながらに「勉強する」ということの意義を改めて考え、よりよく生きていこうとする志につながっていくものと考えます。

これまでの取り組みの一端を紹介します。

《たのしい あき いっぱい 10.15(木) 1年生》

「あつめた はっぱ や み などをつかって たのしい あそびを かんがえよう。」という学習を行いました。

教室には、子どもたちが集めてきた‘秋‘がいっぱいです。

赤や黄色のきれいな落ち葉、形もさまざまです。どんぐりや松ぼっくりもあります。

さあ、これを使って、どうやって楽しもうかな。「たいこをつくりたい。」「ゆびわやネックレスをつくりたい。」子どもたちの想像がひろがります。くふうが始まります。

授業参観後、福島大学附属小学校教諭 紺野 純 先生に子どもたちに力をつける生活科の授業のあり方についてご指導をいただきました。

《町の人と畑の収穫を喜び合いたい 10.23(金) 2年生》



ポップコーンがこんなにたくさんとれました。



心のこもった感謝のお手紙です。



物づくりを通して、想像を広げ試行錯誤しながら考える力を高めていく子どもたち



「どんなポップコーン・パーティにしようかな。」というめあてで学習しました。

子どもたちが見事なポップコーンを収穫するまでにお世話になった「畑の先生」を招待し感謝の思いを伝えたい。そのためにどんなパーティにするかを話し合いました。

「みんなでかごめかごめをやったらどうか。」「顔の絵を描いてあげたらどうか。」「プレゼントには、リボンをつけた方がいいよ。」など、いろいろな意見が出されました。

相手や場に応じた行動の仕方について考えながら、収穫までの過程や苦勞を振り返るとともに、お世話になった人への親しみと感謝の思いが高まっています。

自分の考えを積極的に発言する子どもたち

自分たちの考えを積極的に発言する子どもたち

ご指導いただいている先生方です！

サポート・ティチャー 渡辺 千代子 先生

担当 理科（4、5、6年生）

※理科の学習支援や実験準備などをお世話になっています。

年間 25日（75時間）（10月～2月）

千代子先生といっしょに楽しく学ぶ4年生。
水を熱していくと、水の温度や様子がどうなるかの勉強をしました。
「だんだん温度が上がっていくぞ。」
「泡が出て、ぶくぶく音がしてきたぞ。」



合唱指導講師 渡辺 直子先生

担当 音楽（4年生） 10～11月の7日間（9時間）

※童謡・唱歌音楽祭の練習や本番で、ピアノ伴奏などをお世話になります。

全校集会（11/16）の校内発表会でも
ピアノ伴奏をしていただきました。

お陰様で、7名の少人数でもきれいな
ハーモニーを体育館いっぱいに響かせる
ことができました。直子先生、ありがとう
ございます。



入賞おめでとう！

◇ 第6回「私と新聞」親子作文コンクール

〈親子賞 入選〉 5年 吉田 千夏・史緒さん

〈子ども個人賞〉 5年 菅野 彩華

〈学校賞〉 古道小学校

5・6年生が昨年から続けてきた「新聞記事の感想を書く取り組み」の成果の一端なのでしょうか。これからも続けていき、考える力・判断する力・表現する力などを高めましょう。最近、4年生も取り組みを始めました。



◇ 第34回田村富士ロードレース大会

〈小学4年生女子2km〉

第6位 4年 添田 梨央 9分17秒

〈小学5年生男子2km〉

第4位 5年 吉田 陽平 7分54秒

〈親子ペア（市内）2km〉

第4位 3年 高橋 河和・公助さん 8分50秒



◇ 2016ふるさと都路カレンダー制作絵画

〈優秀賞〉 2年 猪瀬依千歌 3年 高橋 河和

5年 宗像 愛望 （※カレンダーは、全家庭へ配付予定です。）



